

重要事項



施工の前に、施工説明書を
必ずお読みください。
施工不良の原因となります。

- ・天井仕上げ方法の違いで、同梱している2種類の施工説明書から選択してください。
(ケース1) 下地天井が張られていて、仕上げ天井張りは器具取付後の場合。

A

天井下張り後
器具取付用

(ケース2) 下地天井と仕上天井が、すでに張られている場合。

B

天井仕上後
器具取付用

- ・器具取付は、器具を各ブロックに分解して、手順に従い行ってください。
- ・仕上天井の開口穴は、必ず指定の寸法に仕上げてください。

(一般屋内用)

SmartArchi 天井用埋込型照明器具

**ケアフル
施工商品**

品番	NYY(NYYH)23095K	NYY(NYYH)23094K
光色	昼白色【5000K】	白色【4000K】

※上記()内は加工品番です。
(以降、加工品番の記載を省略します。)

**天井下張り後
器具取付用**

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼して下さい。

施工説明

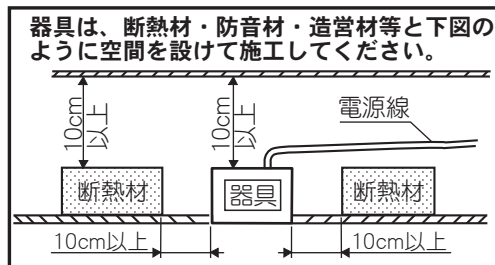
工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意



危険

- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
過熱による火災の原因となります。



警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用です。傾斜天井、補強のない天井、横向き、逆向には取付け不可。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると感電・火災の原因となります。
- 器具の取付部以外の本体外郭が、天井(壁)内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れない様に施工する。火災の原因となります。



注意

- 直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。落下・感電・火災・サビの原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用するとちらつきや短寿命の原因となります。
- 器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがのおそれがあります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
(一部の食品や薬品、紙類、車の排気ガスなどには硫黄成分が含まれます。)光学性能に影響を与える場合があります。

施工上のご注意

- コネクタ接続は、必ず電源を切ってから行ってください。LEDユニットの故障・短寿命の原因となります。
万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路(発振停止機能)によりLEDユニットは点灯しません。
- スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側(電圧側)に取付けてください。(接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします)
- 入力電圧が242Vの場合、消灯直後、数回間欠点灯する場合がありますので、スイッチは必ず非接地側に取付けてください。
- T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。
詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。
- LEDブロックを取扱う際、レンズを不用意に触れないでください。光学部品のため、性能低下の原因となります。

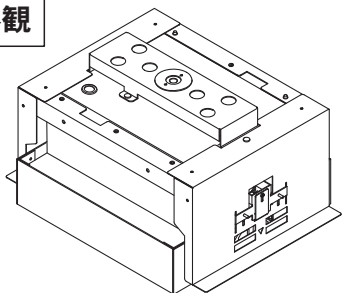
施工に関するご注意 ケアフル施工

- この器具はケアフル施工品です。開口寸法のバラツキによる隙間を吸収できる枠がありませんので、推奨する開口寸法を逸脱する場合は、大きな隙間を生じることがありますのでご注意ください。
- この器具は、従来の器具とは異なり、建築工事(天井張り施工)と、電気設備工事(器具施工)間で、施工法、及び天井材厚等に関して事前調整が必要ですので、ご注意ください。

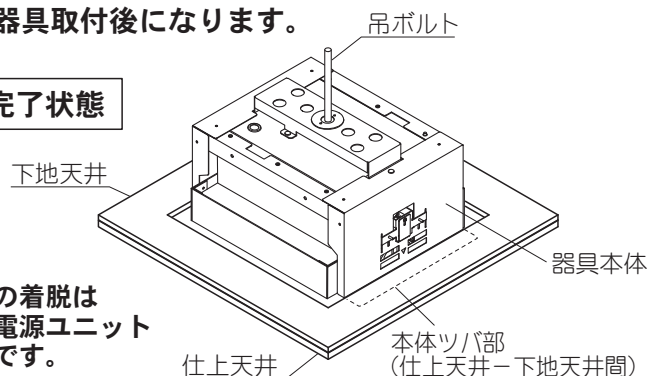
天井下張り後器具取付

下地天井張後の器具取付施工方法です。仕上天井張は、器具取付後になります。本体ツバ部は、下地天井と、仕上天井に挟まれます。

器具外觀



施工完了状態

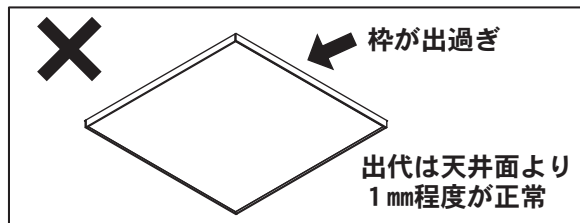


仕上天井張り後、本体の着脱はできなくなりますが、電源ユニット交換などの補修は可能です。

ケアフル施工について

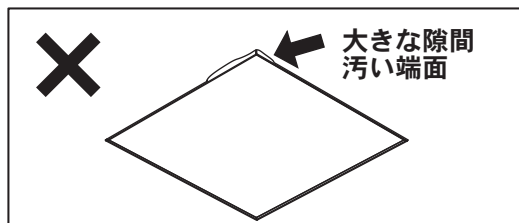
必ず、施工説明書に従い施工を行ってください。以下の様な施工不良の原因になります。

○施工不良例 枠が仕上天井より出っ張る。奥まる。



施工方法に合わせて**器具の設定**を行ってください。
天井材厚に合わせて**器具の設定**を行ってください。

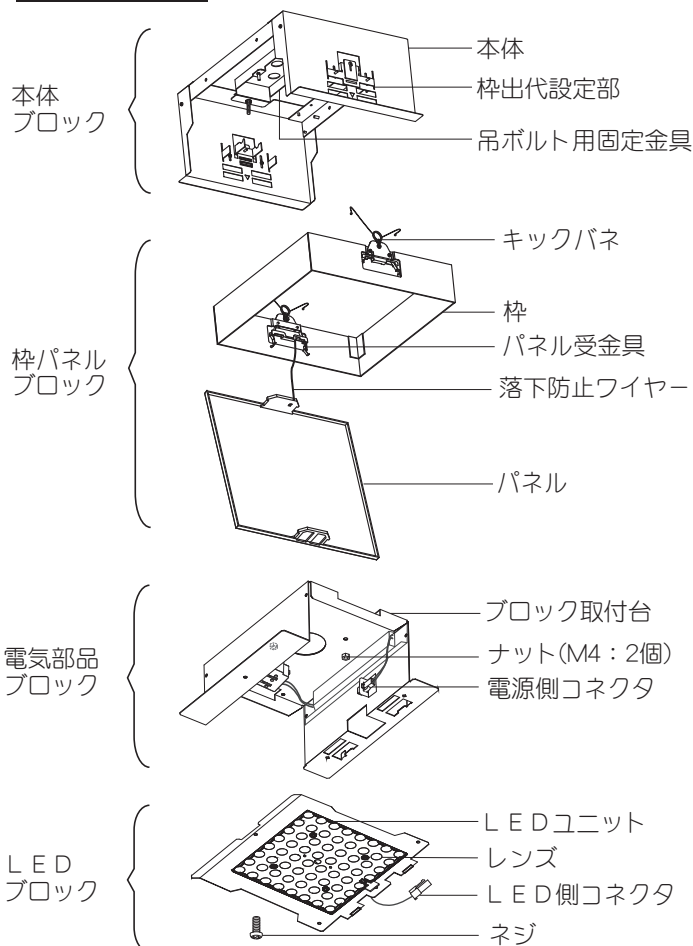
○施工不良例 枠と天井開口穴の間に隙間。



指定の開口穴寸法を守ってください。

○埋込穴に入らない。取付できない。

ブロックに分解して、手順に従い組み込んでください。



施工前にパネルを外してください。
パネルの外し方は
☞ 8ページ「お手入れ」参照

施工手順(必ず守ってください)

【①前準備】

天井下張り、吊ボルト、電源線の準備

【②器具の設定変更】

天井板厚に合わせて器具の設定

【③本体ブロックの取付】

本体ブロックの取付

【④器具組立】

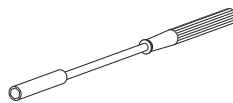
- ・ 枠パネルブロックの取付
- ・ 電気部品ブロックの取付
- ・ 電源線接続
- ・ LEDブロックの取付、コネクタの接続
- ・ パネルの取付

【⑤天井仕上】

仕上天井張り施工

取付方法

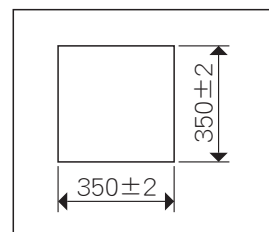
- 施工前に部品をすべて取り出し、部品が揃っていることを確認してください。
- 器具の施工には、プラスドライバーなど一般工具に加え M4用ボックスドライバー(対辺 7 mm)が必要です。



①[前準備] 下地天井張り、吊ボルト、電源線の準備

天井は、器具質量(5.4kg)と、吊ボルト固定による押下げ荷重に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。

1. 下地天井を、右記の通りの寸法で開口してください。

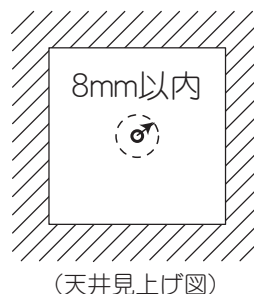
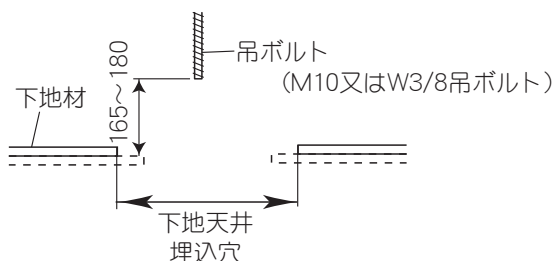


下地天井穴寸法

2. 埋込穴の中央に下図の通りの寸法で吊ボルトを準備してください。

吊ボルト先端は、下地材下面より165mm～180mm
吊ボルト位置は、開口穴中央から半径8mm以内

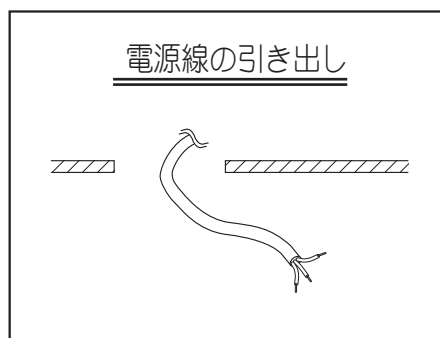
吊ボルト先端位置



※注1) 吊ボルト先端位置が右記範囲外となった場合、ボルト先端が器具に干渉して取付ができない、又は、ボルト固定が出来なくなります

※注2) 天井埋込穴中心に対するズレは全方向 8mm以内としてください

3. 電源線を埋込穴より引き出してください。



取付方法

②[器具の設定変更]

天井板厚に合わせて器具の設定

②-1 予定の仕上上天井厚の確認

⚠ 注意

- 仕上天井の厚みを確認してください。
- 仕上天井の厚さにあわせて枠出代設定を行ってください。

1. 器具取付後に張る天井仕上材（下地天井ではない）の板厚を確認してください。この器具が対応できる仕上天井材の板厚は、右表の通りです。

表1 適合する仕上天井厚

仕上材厚 (mm)
9
12
15

②-2 仕上天井板厚に合わせて器具の設定

1. 仕上に使用する仕上天井厚を確認してください。これに合わせて枠の出代設定を変更する必要があります。（設定は本体の枠出代設定金具を上下させ、下表の使用スリットに枠出代設定金具の合わせ部を差し込むことで行います。）

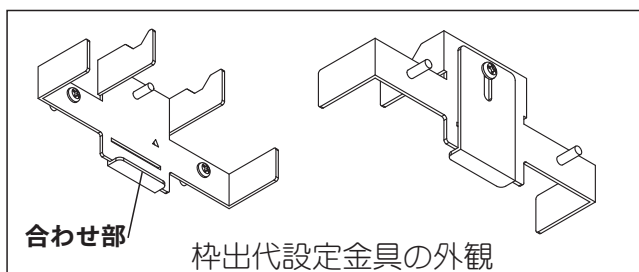
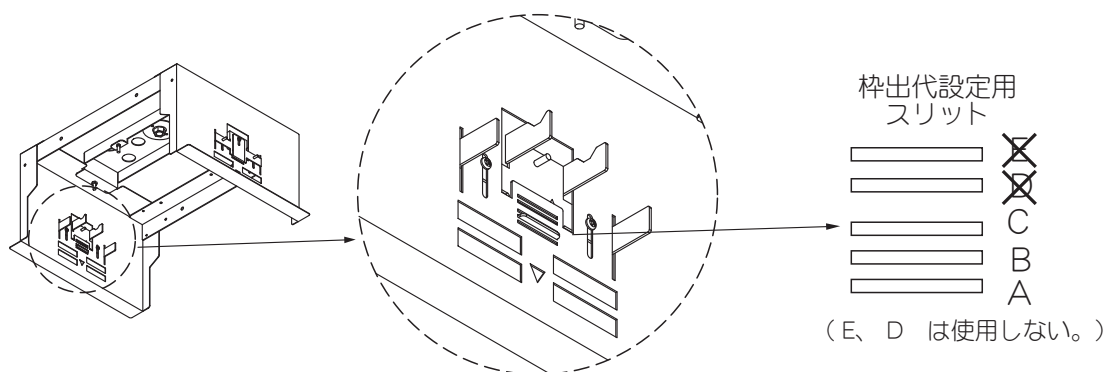


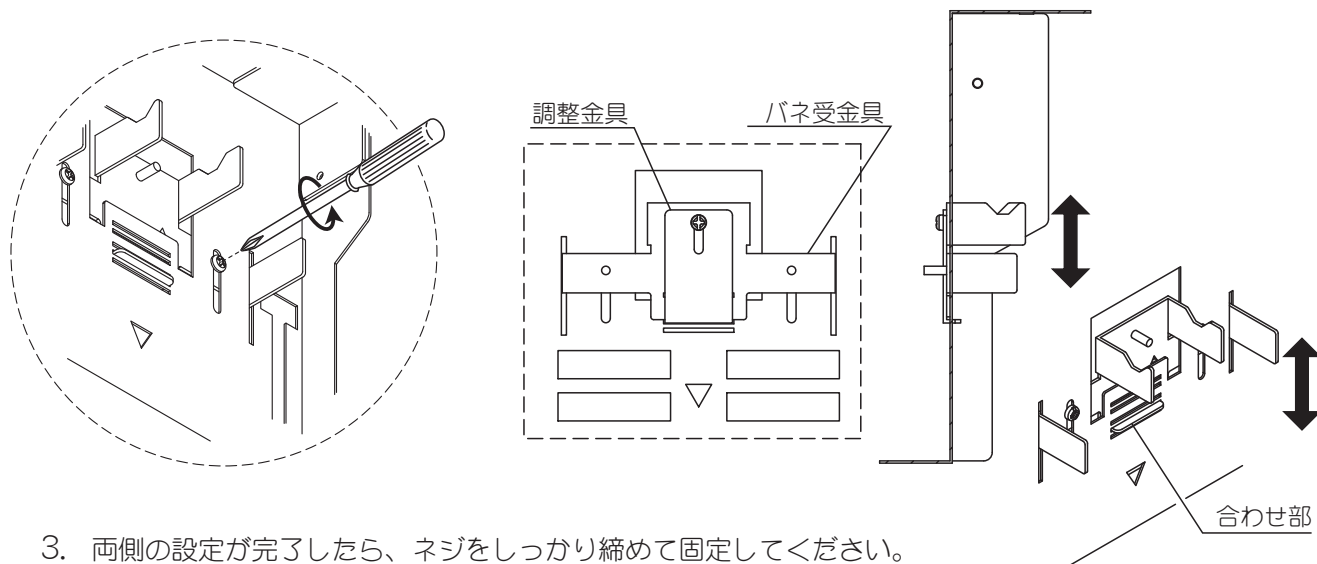
表 枠出代設定金具の使用スリット

仕上材厚 (mm)	使用スリット
9	C
12	B
15	A

初期設定 B

（仕上天井が12mmの場合は変更は必要ありません）

2. 本体の内側から、枠出代設定金具を固定している2本のネジを緩めて、枠出代設定金具を上下させて、合わせ部を設定するスリットに差し込んでください。

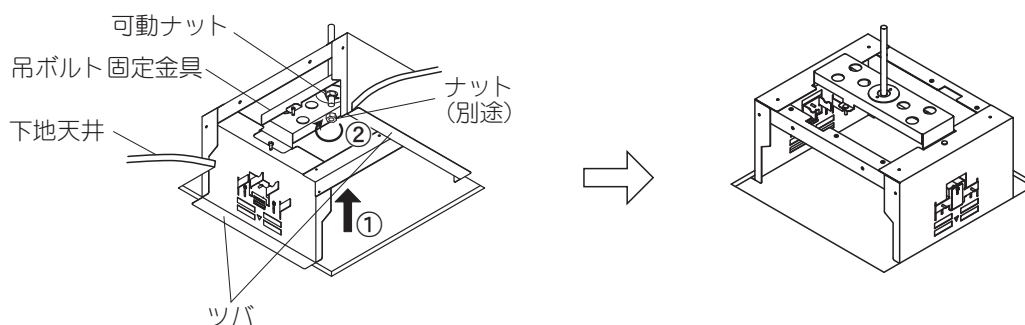


3. 両側の設定が完了したら、ネジをしっかり締めて固定してください。

取付方法

③[本体ブロックの取付]

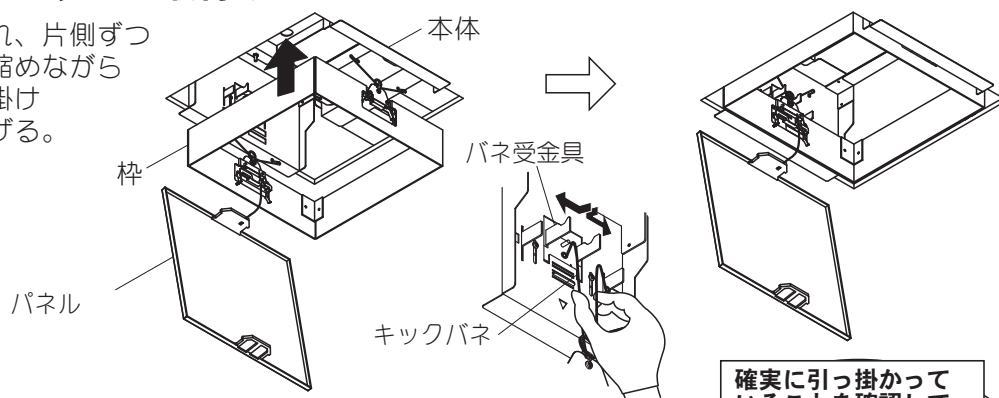
1. 取付前に、吊ボルト用固定金具が、本体ブロックに取付いているか確認する。
(取付いていない場合は取付ける。)
2. 本体の固定は吊ボルトを使用して行う。
 ①本体を埋込穴に真っ直ぐ押し上げる。
 ②可動ナットとナット(別途)を吊ボルトに確実に締付ける。(推奨トルク値 $0.5\text{N} \cdot \text{m}$ ($5\text{kgf} \cdot \text{cm}$))



④[器具組立]

④-1 枠パネルブロックを取付ける

枠を本体の中に入れ、片側ずつ
キックバネを押し縮めながら
バネ受金具に引っ掛け
ゆっくりと押し上げる。

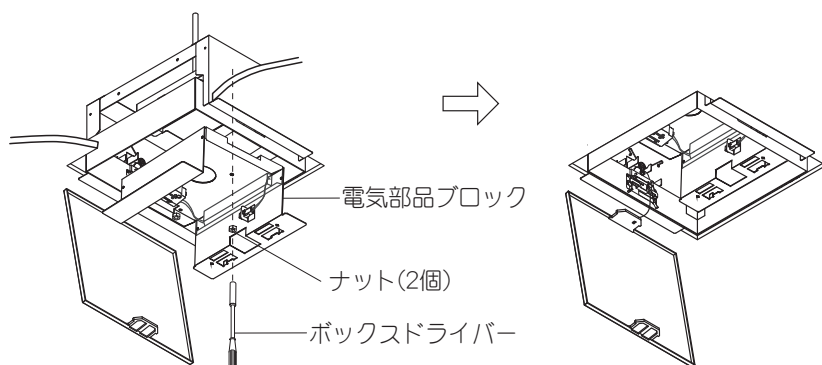


枠上面がバネ受け金具の下面と
密着していることを確認してください

確実に引っ掛かっ
ていることを確認し
てください

④-2 電気部品ブロックを本体ブロックに取付ける

吊ボルト用固定金具に電気部品ブロックをナット2個で
取付ける。(ボックスドライバー使用)



取付方法

④-3 電源線、アース線を電気部品ブロックの端子台に接続する

- ・電源線、アース線を電気部品ブロックの電源穴より引き込み、端子台に確実に差し込む。
- ・D種（第3種）接地工事が必要です。
- ・端子台の容量は20Aです。

接続が不完全な場合や、容量オーバーした場合、火災の原因となります。

注) 電源線接続後、余分な電源線は電源穴へ押し込むか、電源線を押しつけて処理すること。

押し込む

電源穴

端子台

送り側 解除穴

適合電線：VVFケーブル
φ 1.6、φ 2.0単線

12±2mm

電源側 解除穴

アース

器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を、解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く

④-4 LEDブロックを電気部品ブロックに取付ける

注) LEDブロックを取扱う際、レンズを不用意に触れないでください。

光学部品のため、性能低下の原因となります。

- ① LEDブロックをブロック取付台の仮吊り位置（◇印2箇所）に引っ掛ける。

取付が不完全な場合、LEDブロック落下の原因となります。

- ② LED側コネクタを電源側コネクタに確実に接続する。

カチッと音がするまで差し込む。

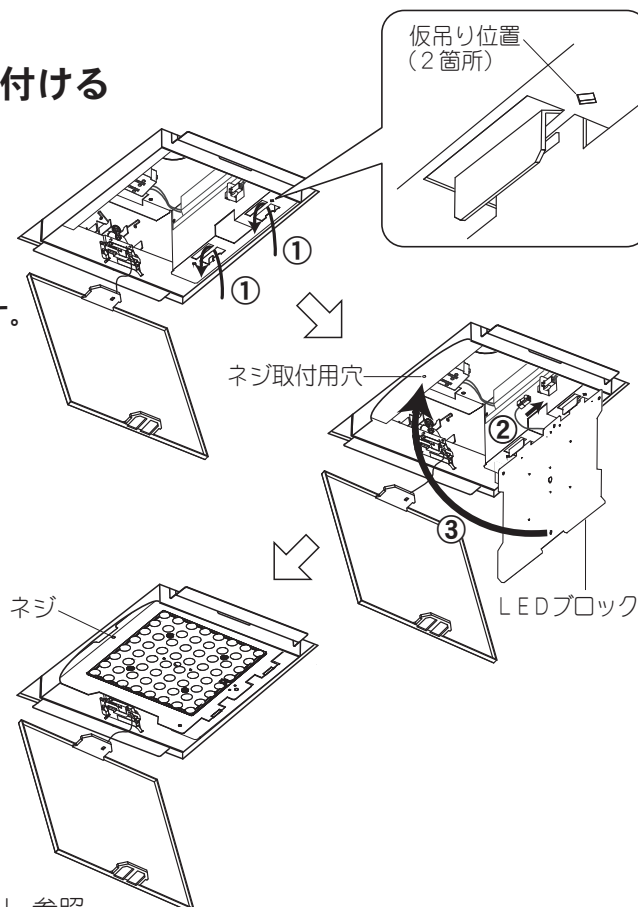
不備があると不点灯の原因となります。

LED側
コネクタ

電源側
コネクタ

- ③ LEDブロックを右図のように持上げ、ネジ（1個）で電気部品ブロックに取付ける。

不備があるとLEDブロック落下の原因となります。



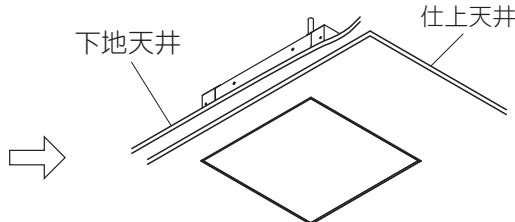
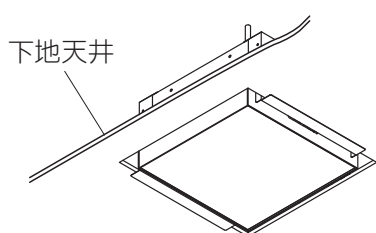
④-5 パネルを取付ける 8ページ「お手入れ」参照

⑤[天井仕上] 仕上天井張り施工

枠に合わせて仕上げ天井を張ってください。

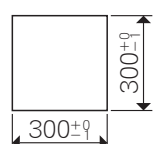
仕上天井の切断面下側には欠け、曲がり等が無い様、十分配慮ください。仕上天井の下側切断線が露出しますので、十分注意して穴加工を行ってください。

仕上天井が石膏ボードや岩綿吸音板のように軟らかい場合はカッターナイフでの開口をおすすめします。



重要ポイント

仕上天井開口寸法



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

・ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- LEDユニットが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。



注意

- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年（※1）経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。LED光源は寿命が来ても暗くなりますが、点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。（チェックシート番号：CLX2021HA）
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。
火災の原因となります。
- LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。

■LED照明器具の光源寿命（※2）は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）

※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の85%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- ・LEDユニットは、設計上、LEDを搭載せず消灯させている部分があります。予めご了承ください。
- ・LED素子にはバラツキがあるため、LEDユニット内のLED個々、及び同一品番で発光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

保証について

- 保証について …………… この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について …………… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の …… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、
保有期間 6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

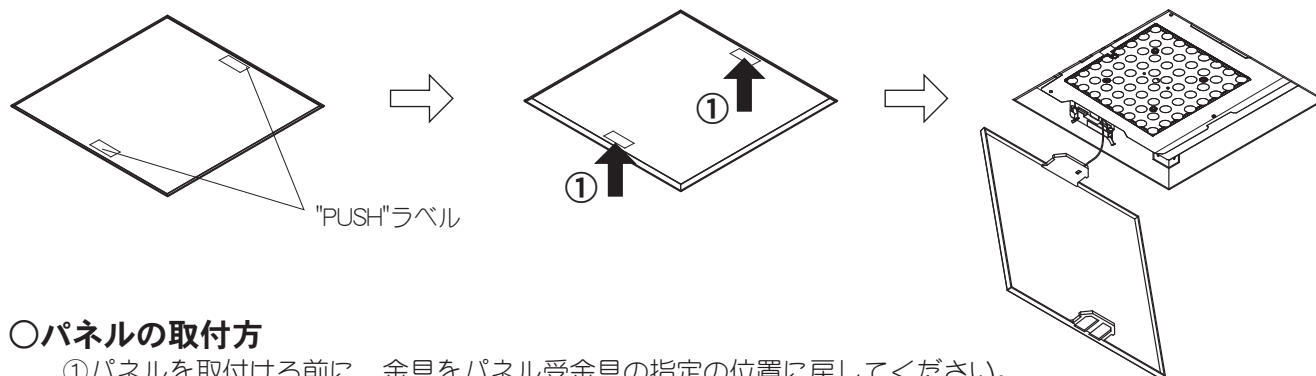
- 器具の清掃について…水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

⚠ 注意

- 感電のおそれあり
お手入れ時は、必ず
電源を切ってください

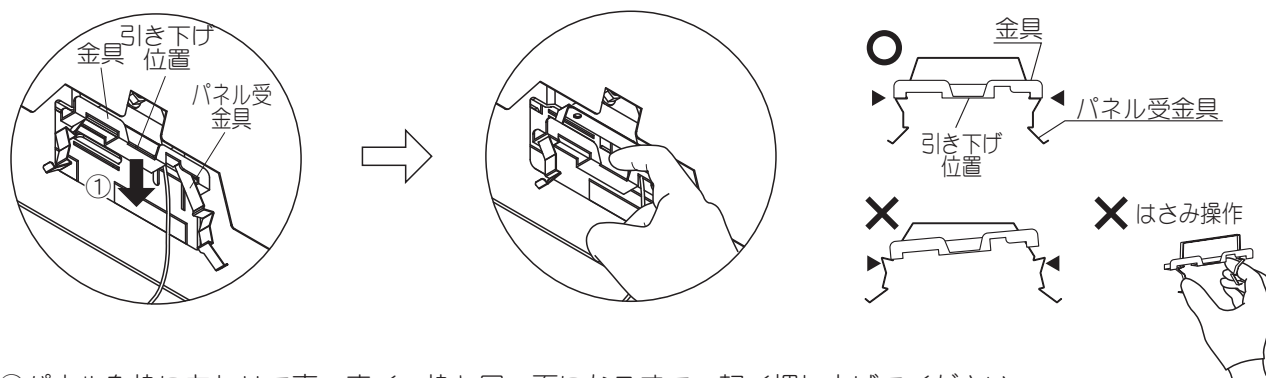
○パネルの外し方

- ①パネルの“PUSH”の部分（両側）を、5mm程度、上側に軽く押してください。
器具内部でパネル固定部が解除されます。
注意：片側のみの無理押しや、無理な引張り等は避けてください。器具の破損の原因になります。
- ②固定部が解除されますので、パネルを受けてください。

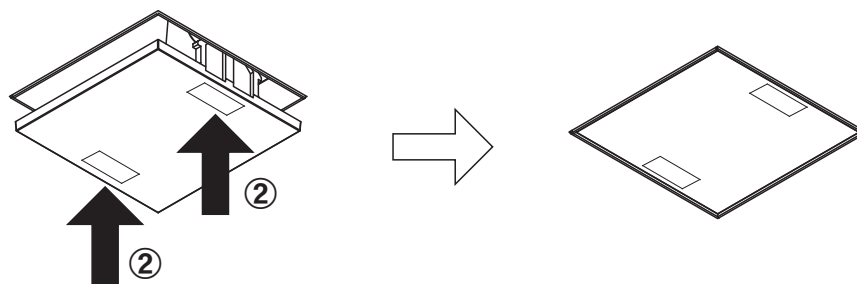


○パネルの取付方

- ①パネルを取付ける前に、金具をパネル受金具の指定の位置に戻してください。
※無理な引き下げやパネル受金具のはさみ操作は行わないでください。



- ②パネルを枠にあわせて真っ直ぐ、枠と同一面になるまで、軽く押し上げてください。
押し込み過ぎると、バネ受金具が解除され取付ができません。



■定格

起動方式	電圧	100V	200V	242V
LE9	電流	0.18A	0.09A	0.08A
	電力	17.6W	17.6W	17.6W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター
0120-878-709(フリーダイヤル) 0120-872-460(FAX)

(一般屋内用)

SmartArchi 天井用埋込型照明器具

**ケアフル
施工商品**

品 番	YYY(NYYH)23095K	YYY(NYYH)23094K
光 色	昼白色【5000K】	白色【4000K】

※上記 () 内は加工品番です。
(以降、加工品番の記載を省略します。)

**天井仕上後
器具取付用**

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼して下さい。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意



危険

- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
過熱による火災の原因となります。

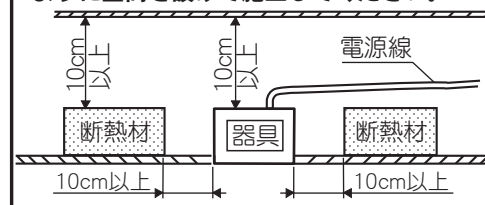


ブローイング材
ブローイング施工不可



グラスウール
グラスウール施工不可

器具は、断熱材・防音材・造営材等と下図のように空間を設けて施工してください。



警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用です。傾斜天井、補強のない天井、横向き、逆向には取付けない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用する感電・火災の原因となります。
- 器具の取付部以外の本体外郭が、天井(壁)内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れない様に施工する。火災の原因となります。



注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。落下・感電・火災・サビの原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用するちらつきや短寿命の原因となります。
- 器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがのおそれがあります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
(一部の食品や薬品、紙類、車の排気ガスなどには硫黄成分が含まれます。) 光学性能に影響を与える場合があります。

施工上のご注意

- コネクタ接続は、必ず電源を切ってから行ってください。LEDユニットの故障・短寿命の原因となります。
万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路(発振停止機能)によりLEDユニットは点灯しません。
- スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側(電圧側)に取付けてください。(接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします)
- 入力電圧が242Vの場合、消灯直後、数回間欠点灯する場合がありますので、スイッチは必ず非接地側に取付けてください。
- T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。
詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。
- LEDブロックを取扱う際、レンズを不用意に触れないでください。光学部品のため、性能低下の原因となります。

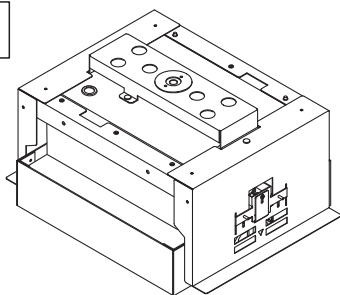
施工に関するご注意 ケアフル施工

- この器具はケアフル施工品です。開口寸法のバラツキによる隙間を吸収できる枠がありませんので、推奨する開口寸法を逸脱する場合は、大きな隙間を生じることがありますのでご注意ください。
- この器具は、従来の器具とは異なり、建築工事(天井張り施工)と、電気設備工事(器具施工)間で、施工法、及び天井材厚等に関して事前調整が必要ですので、ご注意ください。

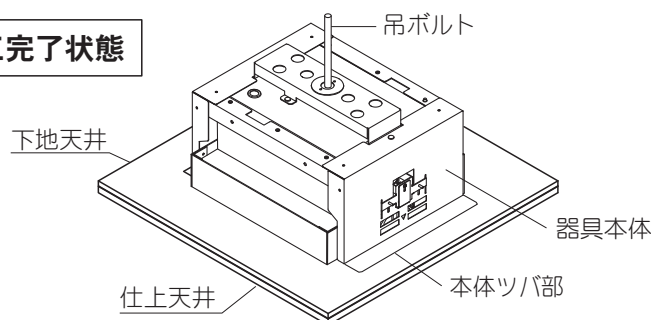
天井仕上後器具取付

仕上天井張った後で下地天井張の上に本体を乗せ、吊ボルトを使って固定する器具取付施工方法です

器具外観



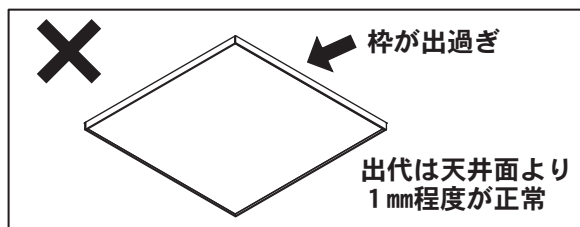
施工完了状態



ケアフル施工について

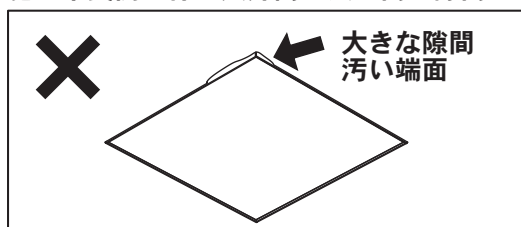
必ず、施工説明書に従い施工を行ってください。以下の様な施工不良の原因になります。

○施工不良例 枠が仕上天井より出っ張る。奥まる。



施工方法に合わせて**器具の設定**を行ってください。
天井材厚に合わせて**器具の設定**を行ってください。

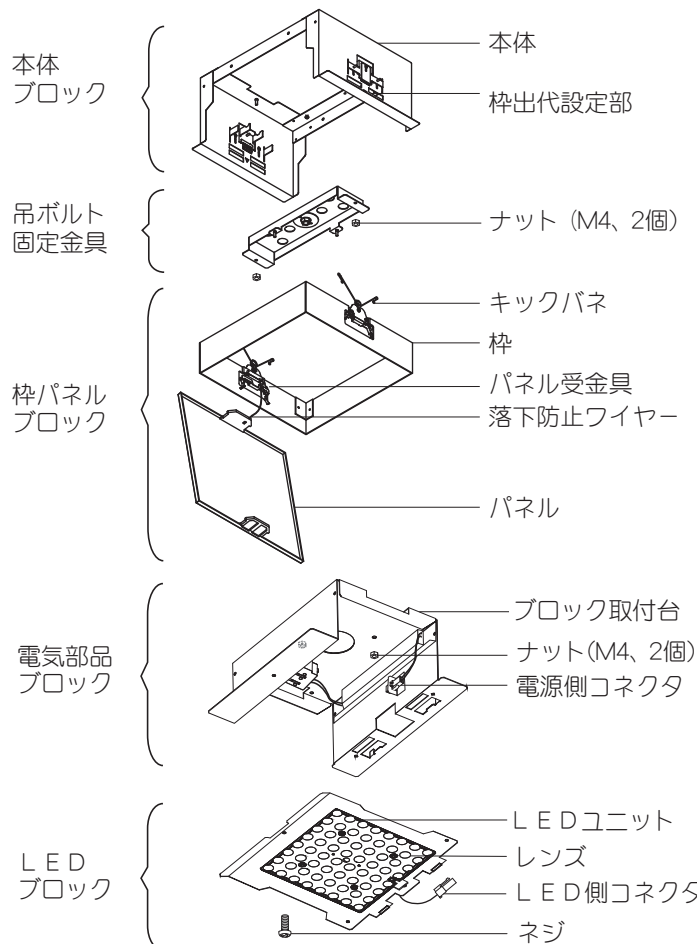
○施工不良例 枠と天井開口穴の間に隙間。



指定の開口穴寸法を守ってください。

○埋込穴に入らない。取付できない。

ブロックに分解して、手順に従い組み込んでください。



施工前にパネルを外してください。
パネルの外し方は
☞ 8ページ「お手入れ」参照

施工手順(必ず守ってください)

【①前準備】

天井仕上（下地、仕上）、吊ボルト
電源線の準備

【②器具の設定変更】

天井板厚に合わせて器具の設定

【③本体ブロックの取付】

本体ブロックの取付

【④器具組立】

- ・ 枠パネルブロックの取付
- ・ 電気部品ブロックの取付
- ・ 電源線接続
- ・ LEDブロックの取付、コネクタの接続
- ・ パネルの取付

取付方法

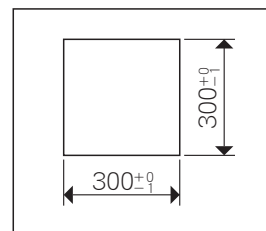
①[前準備] 天井仕上（下地、仕上）吊ボルト、電源線の準備

天井は、器具質量（5.4kg）と、吊ボルト固定による押下げ荷重に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。

1. 天井を、右記の通りの寸法で開口してください。

重要ポイント

- 仕上天井の切断面下側には欠け、曲がり等が無い様、十分配慮ください。
- 仕上天井の下側切断線が露出しますので、十分注意して穴加工を行ってください。
- 仕上天井が石膏ボードや岩綿吸音板のように軟らかい場合はカッターナイフでの開口をおすすめします。

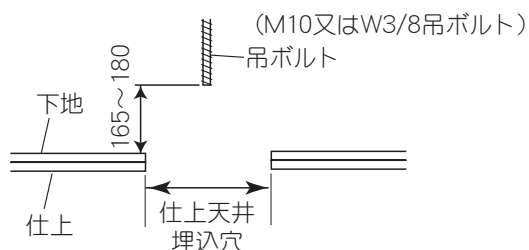


下地/仕上天井穴寸法

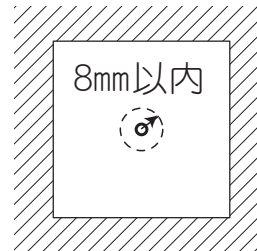
2. 埋込穴の中央に下図の通りの寸法で、吊ボルトを準備してください。

吊ボルト先端は、下地材上面より165mm～180mm
吊ボルト位置は、開口穴中央から半径8mm以内

吊ボルト先端位置



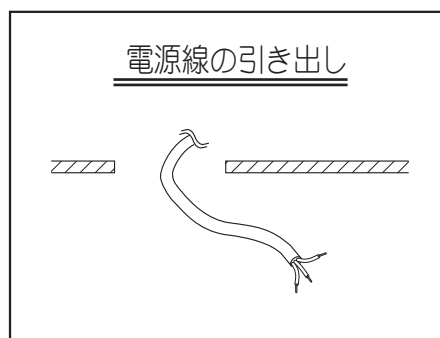
※注1) 吊ボルト先端位置が右記範囲外となった場合、ボルト先端が器具に干渉して取付ができない、又は、ボルト固定が出来なくなります



(天井見上げ図)

※注2) 天井埋込穴中心に対するズレは全方向8mm以内としてください

3. 電源線を埋込穴より引き出してください。



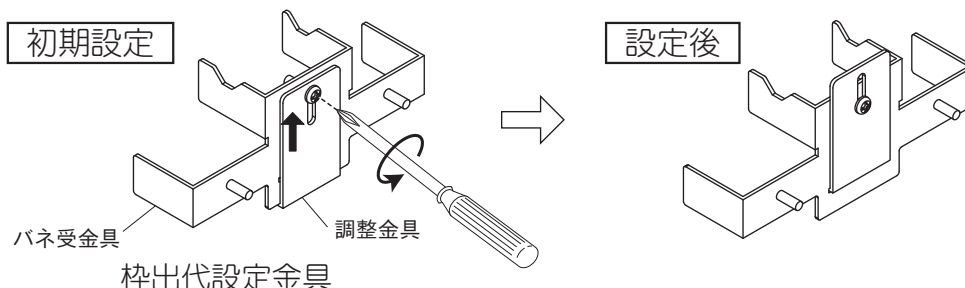
取付方法

②[器具の設定変更]

天井板厚に合わせて器具の設定

②-1 調整金具の切替

本体左右の枠出代設定部で、バネ受金具と調整金具の位置関係を変更してください。



②-2 合計天井厚（下地天井と仕上天井の合計厚）の確認



注意

●合計天井厚を確認して、枠出代設定を行ってください。

合計天井厚（下地と仕上天井の合計）を確認してください。
この器具が対応できる合計天井厚は、右表の通りです。

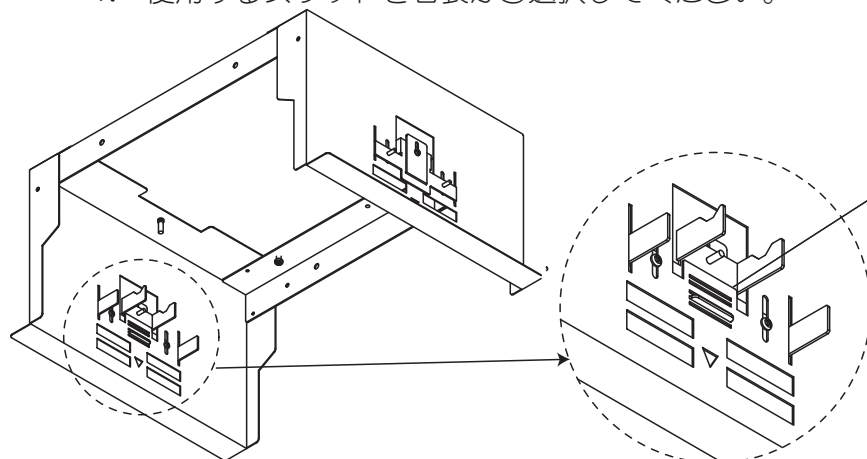
表1 適合する合計天井厚 (mm)

10.5
13.5
18.5
21.5
24.5 (24)

②-3 合計天井厚に合わせて器具の設定

合計天井厚に合わせて、枠出代設定を変更する必要があります。
(設定は本体の枠出代設定金具を上下させ、下表の使用スリットに枠出代設定金具の合わせ部を差し込むことで行います。)

1. 使用するスリットを右表から選択してください。



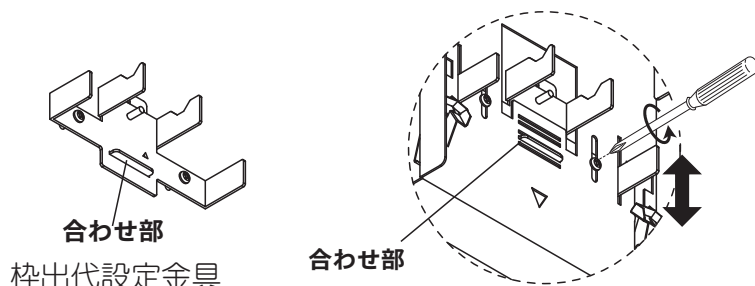
枠出代設定用
スリット

スリット	E
	D
	C
	B
	A

表 枠出代設定金具の使用スリット

合計天井厚 (mm)	使用スリット
10.5	E
13.5	D
18.5	C
21.5	B
24.5 (24)	A

2. 本体の内側から、枠出代設定金具を固定している2本のネジを緩めて、枠出代設定金具を上下させて、合わせ部を設定するスリットに差し込んでください。

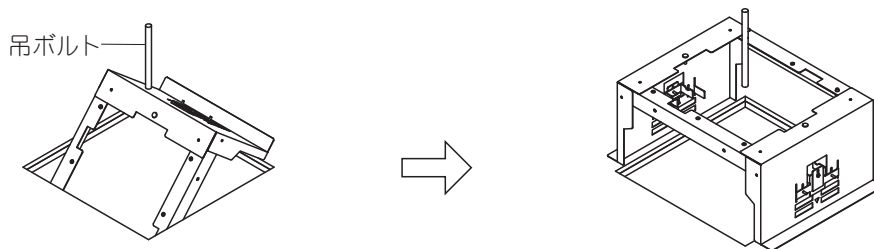


3. 両側の設定が完了したら、ネジをしっかり締めて固定してください。

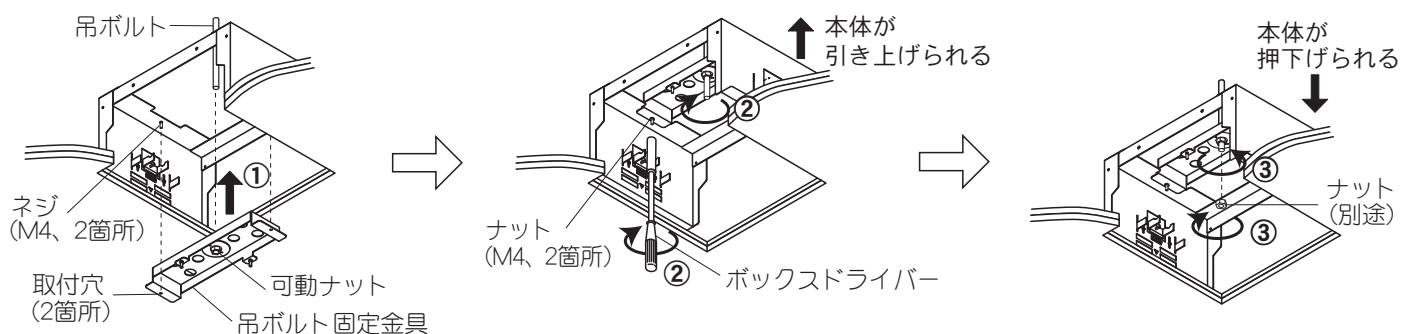
取付方法

③[本体ブロックの取付]

1. 本体から吊ボルト固定金具を必ず取外してください。☞ 2 ページ「ケアフル施工について」参照
吊ボルト固定金具が本体に取付いた状態では、吊ボルトに干渉して本体を埋込穴に入れることができません。
下図の様に本体を傾けながら埋込穴に入れて、下地天井の上に置いてください。



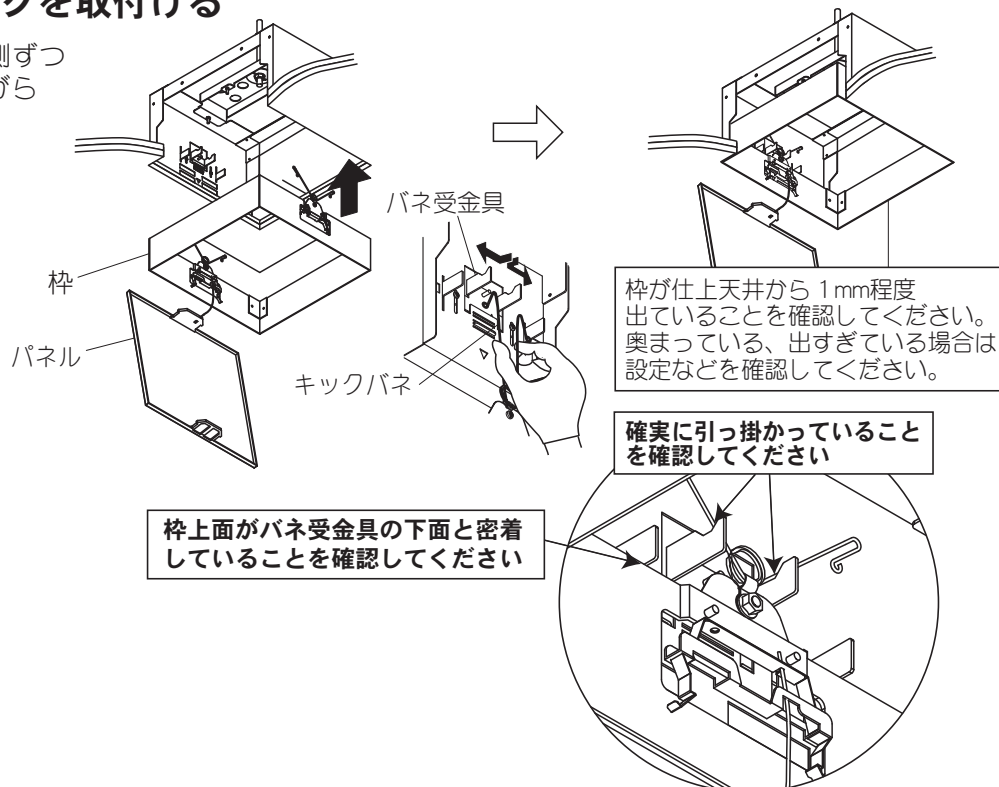
2. ①吊ボルト固定金具の可動ナットを吊ボルトに、同時に取付穴（2箇所）を本体のネジに合わせてください。
②本体が少し浮くまで可動ナットを回転させる。
付属のナット（2個）を使い、本体に吊ボルト固定金具をしっかり固定してください。
③可動ナットを逆方向に回転させることで、本体を下地天井に押し付けて固定してください。
最後に、ナット（別途）を吊ボルトに確実に締付ける。（推奨トルク値 $0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($5 \text{ kg f} \cdot \text{cm}$ ））
本体のツバ部分がしっかり下地天井に密着していることを確認してください。



④[器具組立]

④-1 枠パネルブロックを取付ける

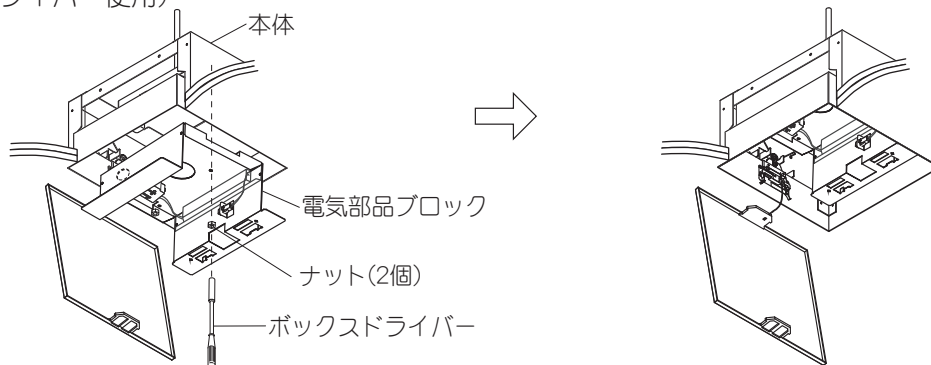
枠を本体の中に入れ、片側ずつキックバネを押し縮めながらバネ受金具に引っ掛け、ゆっくりと押し上げる。



取付方法

④-2 電気部品ブロックを本体ブロックに取付ける

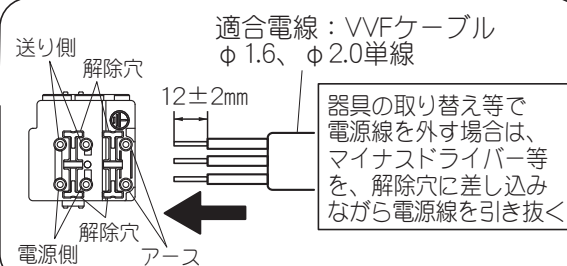
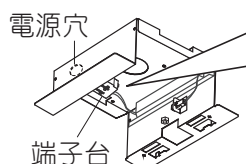
本体の吊ボルト用固定金具に電気部品ブロックをナット(2個)で取付ける。
(ボックスドライバー使用)



④-3 電源線、アース線を電気部品ブロックの端子台に接続する

- ・電源線、アース線を電気部品ブロックの電源穴より引き込み、端子台に確実に差し込む。
 - ・D種(第3種)接地工事が必要です。
 - ・端子台の容量は20Aです。
- 接続が不完全な場合や、容量オーバーした場合、火災の原因となります。**

注) 電源線接続後、余分な電源線は電源穴へ押し込むか、電源線を押しつけて処理すること。



④-4 LEDブロックを電気部品ブロックに取付ける

注) LEDブロックを取扱う際、レンズを不用意に触れないでください。

光学部品のため、性能低下の原因となります。

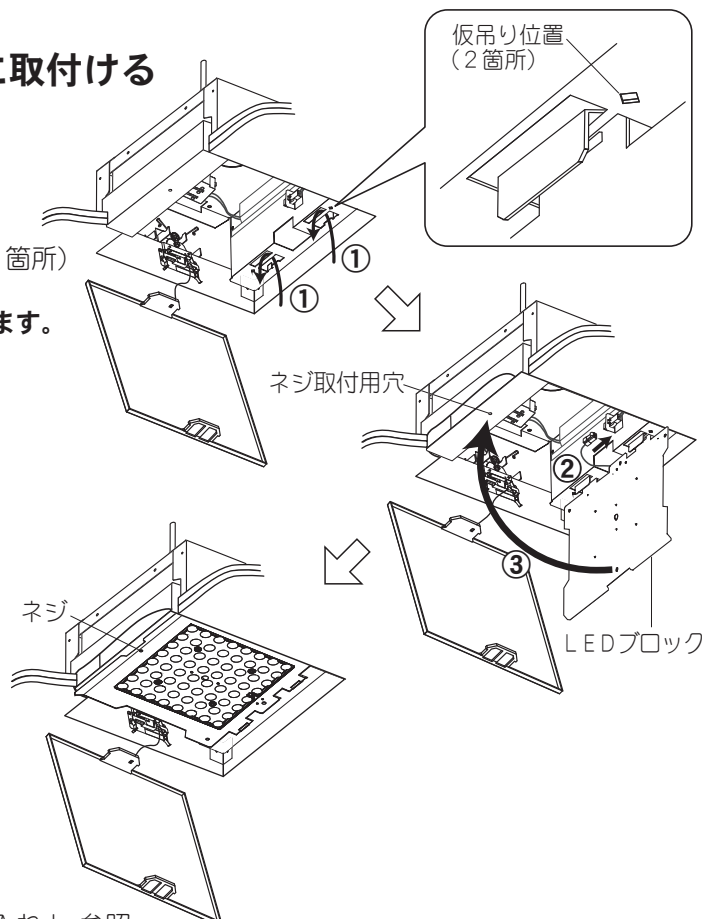
- ① LEDブロックをブロック取付台の仮吊り位置(◇印2箇所)に引っ掛ける。

取付が不完全な場合、LEDブロック落下の原因となります。

- ② LED側コネクタを電源側コネクタに確実に接続する。
カチッと音がするまで差し込む。
不備があると不点灯の原因となります。



- ③ LEDブロックを右図のように持上げ、ネジ(1個)で電気部品ブロックに取付ける。
不備があるとLEDブロック落下の原因となります。



④-5 パネルを取付ける

☞ 8ページ「お手入れ」参照

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

・ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- LEDユニットが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。



注意

- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年（※1）経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。LED光源は寿命が来ても暗くなりますが、点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。（チェックシート番号：CLX2021HA）
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。
火災の原因となります。
- LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。

■LED照明器具の光源寿命（※2）は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）

※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の85%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- ・LEDユニットは、設計上、LEDを搭載せず消灯させている部分があります。
予めご了承ください。
- ・LED素子にはバラツキがあるため、LEDユニット内のLED個々、及び同一品番で発光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

保証について

- 保証について …………… この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について …………… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の …… 保有期間 …… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

- 器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。



注意

- 感電のおそれあり
お手入れ時は、必ず
電源を切ってください

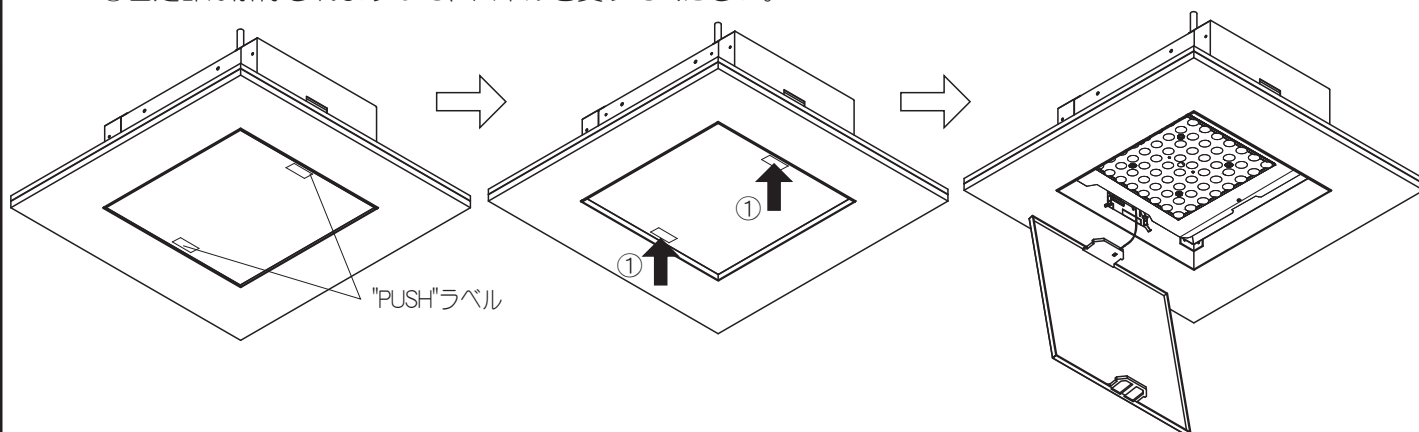
○パネルの外し方

- ①パネルの“PUSH”の部分（両側）を、5mm程度、上側に軽く押してください。

器具内部でパネル固定部が解除されます。

注意：片側のみの無理押しや、無理な引張り等は避けてください。器具の破損の原因になります。

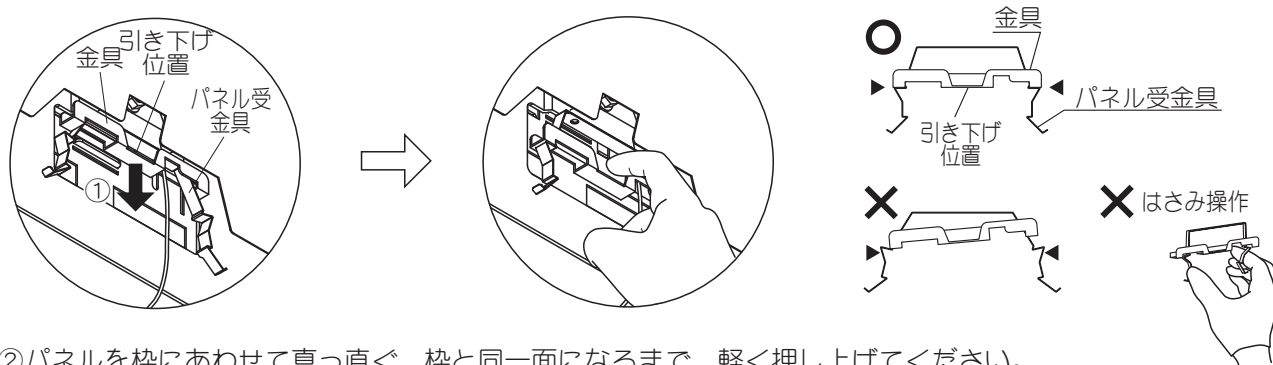
- ②固定部が解除されますので、パネルを受けてください。



○パネルの取付方

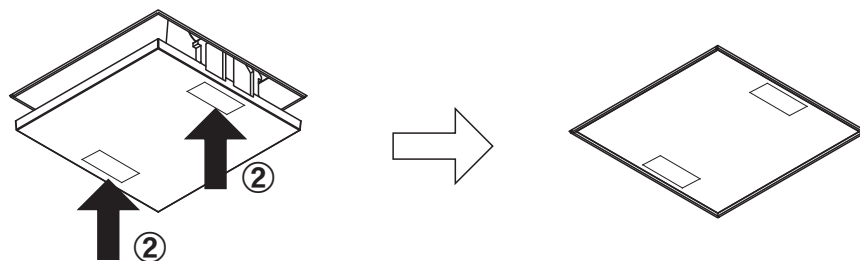
- ①パネルを取付ける前に、金具をパネル受金具の指定の位置に戻してください。

※無理な引き下げやパネル受金具のはさみ操作は行わないでください。



- ②パネルを枠にあわせて真っ直ぐ、枠と同一面になるまで、軽く押し上げてください。

押し込み過ぎると、バネ受金具が解除され取付ができません。



■定格

起動方式	電圧	100V	200V	242V
LE9	電流	0.18A	0.09A	0.08A
	電力	17.6W	17.6W	17.6W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター
0120-878-709 (フリーダイヤル) 0120-872-460 (FAX)